

部門名	土木コンサルタント業務
案件名	学園橋長寿命化修繕設計業務委託
工期（始）	令和3年8月13日
工期（終）	令和4年3月10日
場所	西川津町
事業者名	復建調査設計(株)松江支社
代表者名	常務執行役員支社長 木次 俊之
技術者役職	管理技術者
技術者名	長迫 操
工事概要	橋梁修繕設計 N=1 橋 上部工・下部工修繕設計、高欄防護柵取替設計
表彰理由	本業務は、橋梁の老朽化に伴う修繕設計を行ったものであり、劣化原因の究明に詳細な調査を必要としたが、調査結果をもとに最適な修繕工法を高い技術力をもって提案がなされ、業務を完成させた。

本業務の表彰技術者である、復建調査設計株式会社松江支社の管理技術者（当時）長迫操氏は受賞の感想を、「初めての受賞でとてもうれしく感じ、今後の励みになりました。」と話す。

本業務で心掛けたことは、「現地詳細調査の時などは、地元の方や学生の方にあいさつを行い、通行に迷惑が掛からないように気を配ったこと。」、また、印象に残ったことは、「既設の下部工と橋梁地覆のクラックの大きさや数の多さに驚いたこと。」、そして苦労した事について、「現地調査結果や補修内容が理解しやすいように協議資料を作成したこと。」と語る。



長迫氏は仕事における今後の目標を、「若者に負けずに、元気に役に立つ仕事を続けること。」、やりがいについては、「自分の設計したものが施工され、いつまでも地図や自然の中に残ること。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは、「自己満足でとどまらず、第三者に喜ばれる設計を行うように心掛けてほしい。」とメッセージを送った。

最後に、長迫氏が勤務する復建調査設計株式会社松江支社について紹介してもらいました。「家庭的な雰囲気のある風通しの良い会社であり、年間の有給取得目標を10日以上としており、平日に気

兼ねなくゴルフに行けるところや、時間有給制度があるので、短時間の休暇も取得できるところ。」。



復建調査設計 株式会社 松江支社
(写真右) 常務執行役員支社長 木次氏
(写真左) 管理技術者 長迫氏